

<研究企画委員会報告>

1. 委員会メンバー（11名）

委員長：村上 公哉（芝浦工業大学）

副委員長：中島 裕輔（工学院大学）

委員：吉田 聡（横浜国立大学）、原 英嗣（国土舘大学）、

水潤 亨（清水建設㈱）、

船越 善博（東京ガス㈱）、川村 佳彦（日本環境技研㈱）、

湯澤 秀樹（㈱日建設計総合研究所）、宮崎 久史（新菱冷熱工業（株））、

川村 昌彦（三機工業㈱）、橘 雅哉（京環境研究所）

事務局：佐土原 聡（専務理事）、二見 昌明（技術部長・企画部長）

自主研究調査WG（7名）

委員長：村上 公哉（芝浦工業大学）

副委員長：中島 裕輔（工学院大学）

委員：吉田 聡（横浜国立大学）、原 英嗣（国土舘大学）、

橘 雅哉（京環境研究所）、鎌田 秀一（都市再生機構）、

佐々木 邦治（社会科学研究機構）

事務局：佐土原 聡（専務理事）、二見 昌明（技術部長・企画部長）

2. 活動概要

（1）委員会の運営方法

① 2～3回程度実施予定。

委員の情報共有や他委員会との情報・意見交換、自主研究等（WG活動内容）に対するアドバイス提供の場として、活動する。

② 委員会の下に、自主研究グループを中心としたWG組織を設ける。

WGメンバーは大学研究者および有志等が中心。開催回数は年5回程度。

（2）自主研究WGの運営方法（年5回程度）

① 研究者等間の研究紹介

- ・ 大学研究室の研究成果を相互に紹介する。※各研究のブラッシュアップの機会とする。
- ・ 都市環境系（都市気候系）研究者をゲストとして招待
※都市環境エネルギー分野の研究ネットワークの広がりを作る。
- ・ 自主研究発表会において選定研究テーマを発表

② 研究者等間の共通研究課題の実施

- ・ 随時取組むべき共通課題があれば提案・議論をして、必要に応じてテーマに加える。
- ・ 当初テーマ案例
 - ・ 地点熱供給研究⇒自治体の街づくりや再開発時に参考となる地点熱供給の好事例に絞って情報収集
 - ・ 成果が積みあがった時期に情報発信の一つとして出版なども検討

（3）調査研究成果普及発表会

2018年（平成30年）の実施以降休止していたが、来年度の再開に向けて検討中。